

令和元年台風 19 号における学校避難所対応のまとめ

< 目次 >

- 1 . 令和元年台風 19 号対応の概要 . . . P 1
- 2 . 参集職員数・避難者推移まとめ . . . P 2
- 3 . 参集状況について . . . P 3、 4
- 4 . 避難所開設の準備について . . . P 5 , 6
- 5 . 避難者の受入れと退所について . . . P 7
- 6 . ペット同行避難について . . . P 8
- 7 . 要配慮者への対応について . . . P 9
- 8 . 避難者から受けた要望 . . . P 10
- 9 . 物資について . . . P 11、 12
- 10 . 情報について . . . P 13、 14
- 11 . 地域・学校との連携について . . . P 15
- 12 . (参考) 避難者名簿 . . . P 16
- 13 . (参考) 避難者カード . . . P 17

< 作 成 >

令和 2 年 1 月 10 日
危機管理室 地域防災課

1. 令和元年台風19号対応の概要

(1) 気象概要

台風情報【10月12日21時頃(江戸川区最接近時)】

- 進行方向・速度：北北東 35km/h ○中心気圧：955hPa
- 中心付近の風速：40m/s ○最大瞬間風速：60m/s

区内の状況

- 最大瞬間風速：43.8m/s【12日21:17(臨海)】
- 時間最大雨量：20.0mm【12日9:20～10:20(小岩事務所)】
- 総雨量 : 157.0mm【10日19:02～12日22:47(江戸川区役所)】
- 最高潮位 : A.P.2.83m【13日4:20(新左近川水門)】

(2) 主な情報・対応経緯(江戸川区)

時刻	主な情報・対応経緯	
10/8 9:50		情報連絡態勢
10/11 8:30		災害対策会議開催〔自主避難施設の開設決定(各区民館・グリーンパレス)〕
11:30		自主避難施設の受入先の発表
10/12 4:14	警報	大雨警報
6:32	警報	洪水、暴風、波浪警報
7:15		気象庁から荒川流域平均雨量が500ミリを超える見込みと連絡あり
8:00		江戸川区災害対策本部設置・江戸川区議会災害対策本部設置
8:30		自主避難施設開設
9:30		気象庁に上記雨量を再確認し避難勧告を決定
9:39		避難所開設職員に避難所(小・中学校)の開設を指示
9:45		新中川以西に避難勧告(清新町・臨海町は除く)を発表 防災行政無線で避難勧告を放送(各区民館・コミュニティ会館を案内)
10:27		避難勧告をエリアメール送信
13:40		避難所開設完了(新中川以西、全ての小・中学校)
14:00		防災行政無線で避難所の開設状況を放送
23:55	警報解除	大雨警報解除 大雨注意報へ
10/13 2:13	警報解除	暴風警報解除 強風注意報へ
7:40		第8回災害対策本部会議開催 避難勧告解除(荒川の水位状況より判断)・避難所の閉鎖を決定
8:00		避難勧告解除を発表 防災行政無線で避難勧告解除を放送
9:30		全避難所閉鎖完了 災害対策本部から情報連絡態勢へ移行
10/14 1:07	警報解除	洪水警報解除 洪水注意報へ 全ての警報解除
1:20		情報連絡態勢解除

(3) 避難所の設置等 避難者数は最大避難者数

- ・小・中学校避難所の設置(教育委員会)65施設：26,761名
 - ・各区民館・コミュニティ会館等(生活振興部・健康部)31施設：5,763名
 - ・文化施設(文化共育部)8施設：2,501名
 - ・くつろぎの家(福祉部)1施設：15名
- 合計 105施設 35,040名

(4) 従事職員数 本庁等従事数は10/12～10/14までの期間の最大従事者人数

避難所(学校)従事数		本庁等従事数		合計 (区職員)	総合計
区職員数	教職員数	区職員数	指定管理者等		
601	127	514	401	1,115	1,643

2. 参集職員数・避難者推移まとめ

< 参集職員数 >

No	小学校	避難者	区職員		
			参集	総数	参集率
1	小松川小学校	385	6	9	67%
2	小松川第二小学校	47	7	8	88%
3	平井小学校	385	8	10	80%
4	平井西小学校	371	10	15	67%
5	平井東小学校	170	6	8	75%
6	平井南小学校	185	7	10	70%
7	松江小学校	1,500	10	14	71%
8	西一之江小学校	246	13	16	81%
9	第二松江小学校	288	11	12	92%
10	西小松川小学校	860	16	18	89%
11	大杉小学校	706	10	12	83%
12	大杉第二小学校	796	11	14	79%
13	第三松江小学校	762	12	14	86%
14	大杉東小学校	357	11	13	85%
15	東小松川小学校	480	13	20	65%
16	船堀小学校	800	15	17	88%
17	船堀第二小学校	383	14	17	82%
18	葛西小・中学校	2,500	11	13	85%
19	二之江小学校	636	11	13	85%
20	二之江第二小学校	700	8	12	67%
21	二之江第三小学校	316	11	14	79%
22	第二葛西小学校	730	12	15	80%
23	第三葛西小学校	202	8	11	73%
24	第四葛西小学校	248	9	10	90%
25	第五葛西小学校	708	11	17	65%
26	第六葛西小学校	170	5	9	56%
27	第七葛西小学校	149	6	8	75%
28	南葛西小学校	179	6	8	75%
29	南葛西第二小学校	159	8	10	80%
30	南葛西第三小学校	17	5	6	83%
31	西葛西小学校	294	10	15	67%
32	新田小学校	91	6	7	86%
33	宇喜田小学校	562	9	11	82%
34	清新第一小学校	139	7	9	78%
35	清新ふたば小学校	55	5	7	71%
36	臨海小学校	84	7	8	88%
37	東葛西小学校	498	7	8	88%
38	一之江小学校	477	13	17	76%
39	一之江第二小学校	272	14	17	82%
40	鹿本小学校	164	6	11	55%
41	本一色小学校	592	13	16	81%
42	上一色南小学校	398	9	13	69%
小学校計		19,061	397	512	78%

< 避難者推移 >

		14時	15時	16時	17時	19時	21時
小学校 (42校)	避難者	6,143	7,708	12,518	15,661	18,341	19,061
中学校 (21校)	避難者	2,694	3,581	4,854	6,253	7,066	7,564
その他 (2校)	避難者	-	-	125	125	132	136
合計 (65校)		8,837	11,289	17,497	22,039	25,539	26,761
増減		-	+2,452	+6,208	+4,542	+3,500	+1,222

No	中学校	避難者	区職員		
			参集	総数	参集率
1	小松川第一中学校	146	5	9	56%
2	小松川第二中学校	205	5	8	63%
	小松川第二中学校【夜間】	11	6	9	67%
3	小松川第三中学校	128	6	9	67%
4	松江第一中学校	430	14	20	70%
5	松江第二中学校	350	11	14	79%
6	松江第三中学校	400	8	12	67%
7	松江第四中学校	700	12	13	92%
8	松江第五中学校	956	15	17	88%
9	松江第六中学校	564	9	14	64%
10	二之江中学校	353	14	16	88%
11	葛西第二中学校	400	13	15	87%
12	葛西第三中学校	374	9	11	82%
13	南葛西中学校	96	7	8	88%
14	南葛西第二中学校	34	4	6	67%
15	西葛西中学校	105	7	10	70%
16	東葛西中学校	300	9	14	64%
17	清新第一中学校	182	3	8	38%
18	清新第二中学校	47	3	6	50%
19	瑞江中学校	270	10	14	71%
20	鹿本中学校	572	10	14	71%
21	上一色中学校	941	12	14	86%
中学校計		7,564	192	261	74%

No	その他	避難者	区職員		
1	旧平井二小学校	130	6	9	67%
2	旧清新第二小学校	6	6	7	86%
その他計		136	12	16	75%

合計 (65校)		避難者	区職員		
		26,761	601	789	76%

3. 参集状況について

(1) 避難所開設職員(65校)

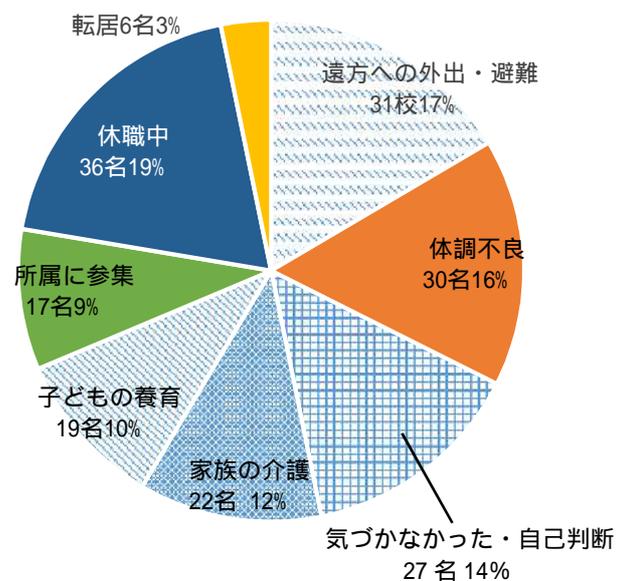
職員	男		女		合計
	人数	男女比	人数	男女比	人数
避難所開設職員(65校)	218名	28%	571名	72%	789名
参集した職員	170名	28%	431名	72%	601名
参集できなかった職員	48名	26%	140名	74%	188名

(2) 参集率(65校)

職員	職員数	割合
参集した職員	601名 / 789名	76%
参集できなかった職員	188名 / 789名	24%

(3) 参集できなかった理由

理由	人数	割合
遠方への外出・避難	31名	16%
体調不良	30名	16%
気づかなかった・自己判断	27名	14%
家族の介護	22名	12%
子どもの養育	19名	10%
所属に参集	17名	9%
休職中	36名	19%
転居	6名	3%
合計	188名	100%



(4) 参集に関する避難所開設職員の意見等

○参集指示

- ・事前に参集指示の可能性のある旨の情報がほしかった。
- ・事前に参集に関する情報があれば、遠方への外出等は控えた。
- ・事前に参集に関する情報があれば、子どもを親族等に預けることができた。
- ・職員安否確認システムを登録していないため参集指示に気付かなかった。
- ・参集指示に気付いたが参集しなかった。
- ・避難所開設は地震の態勢と認識していたため、風水害での参集指示に戸惑いを感じた。
- ・家族を連れて避難所に参集した。
- ・職務要件により参集不可職員となっているが、自主的に避難所に参集して従事した(計19名)。
- ・施設点検者であるが、職員安否確認システムの指示内容(本文)がわかりづらく、とりあえず参集した。その後、施設点検は不要と分かり避難所開設の手伝いをした。

○連絡方法

- ・避難所開設メンバー間の連絡方法が確立されておらず、欠席や遅参の連絡ができなかった。
- ・一番はじめに参集したが他の避難所開設職員がいつ来るか分からず不安であった。
- ・職員安否確認システムの操作に戸惑った。怪しい電話番号であったためしばらく無視していた。

○防災服・持参物資

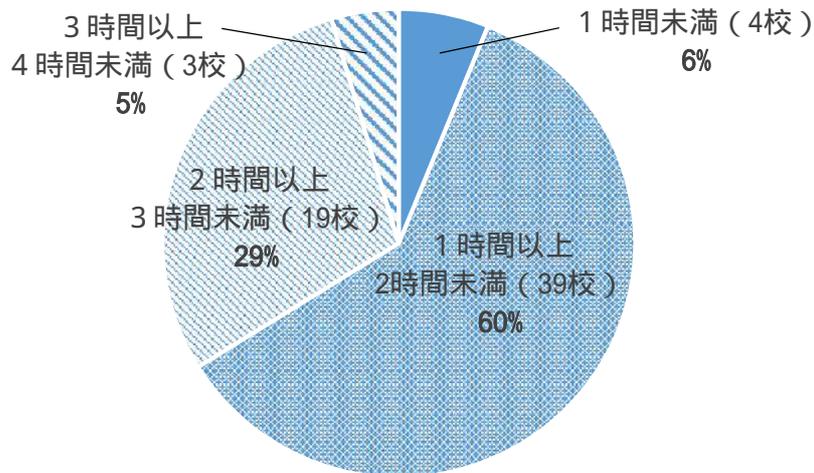
- ・ほとんどの避難所開設職員は防災服を着用した。一部、職場保管していたため着用できなかった職員がいた。
- ・ほとんどの避難所開設職員が自分のための食料・水・着替え等を持参した。一部、焦りや緊急であったため何も持参せずに参集してしまった職員がいた。
- ・急な参集に備えて非常用持ち出し袋を準備しておく必要があると感じた。

○災害時の態勢

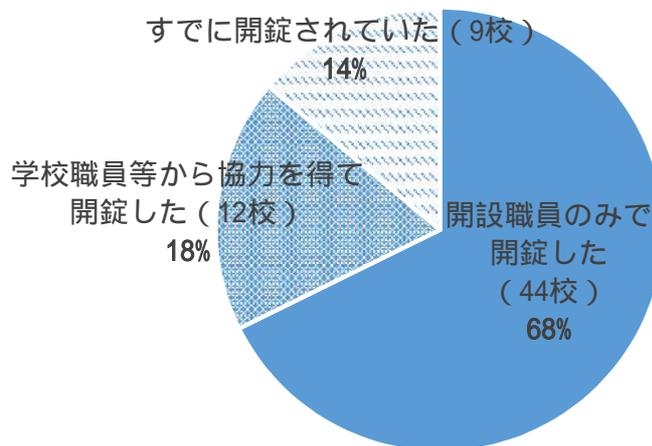
- ・風水害で避難所として開設するのであれば態勢を明確にしてほしい。
- ・川が氾濫すれば避難所に長期間避難者と共に閉じ込められると分かっている、避難所の従事しなければいけないのか。
- ・風水害でも避難所に参集するのであれば訓練をおこなってほしい。
- ・持病や家族事情は災害時の態勢に考慮されないのか。事情を考慮して避難所開設職員から外してほしい。
- ・避難所開設職員であるが所属に参集したため避難所に参集できなかった職員がいた。安易に現場の人数を減らさないでほしい。
- ・避難所開設職員が少ない避難所はもっと増やしてほしい。
- ・避難所開設は軽作業、時に重作業もある。男性職員をもっと増やしてほしい。
- ・地震の際は自分や家族、自宅が被災し、参集が遅れる可能性がある。不安である。

4. 避難所開設の準備について

(1) 開設時間について (9:39 職員参集メールを基準とする)



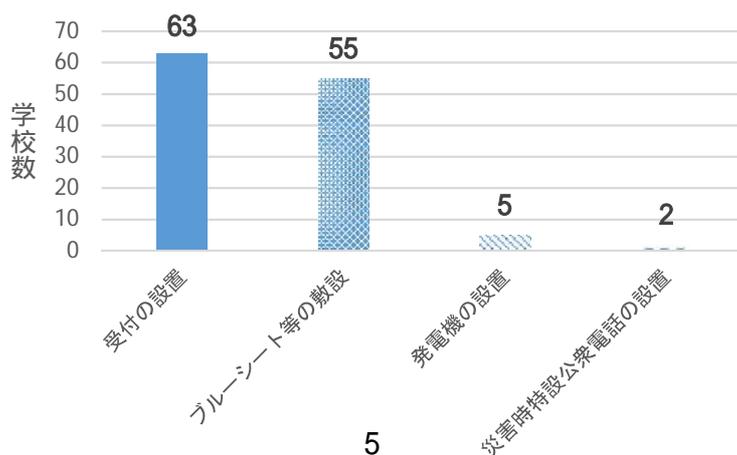
(2) 学校施設入口の開錠について



開設職員のみで開錠できなかった理由と開錠方法

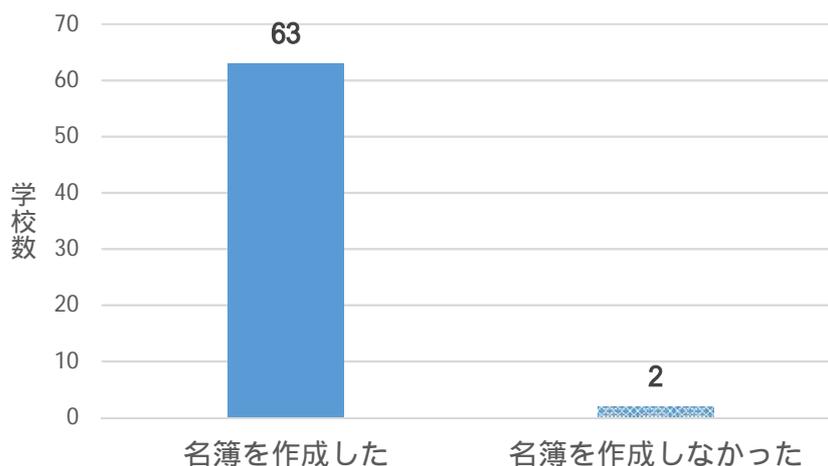
- ・電子錠の番号が変更されていたので、危機管理室に電話連絡し、番号を聞いて開錠した。
- ・新設校で避難所開設訓練を行っていなかったため、教育委員会に電話連絡し、開錠方法を聞いて開錠した。
- ・教職員等に電話連絡し、番号を聞いて開錠した。
- ・門扉のダイヤル式錠の番号を知らなかったため、校長等が来るのを待った。
- ・鍵の番号が変更されていたが、校内に居た教職員が開錠してくれた。

(3) 開設準備について



(4) 名簿について

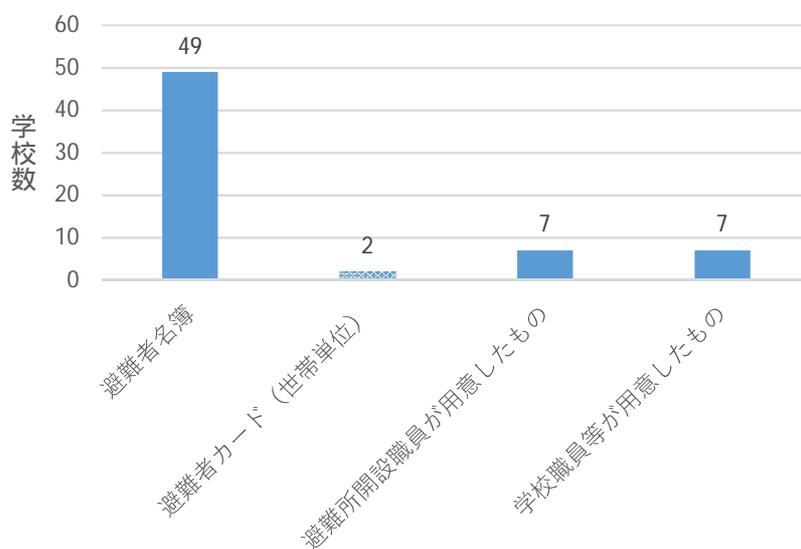
名簿作成の有無について



名簿を作成しなかった理由

- ・開設準備を行う前に、多数の避難者が避難してきたので、名簿は作成できなかった。避難者数は、巡回して把握した。
- ・長期間の避難には至らないと判断し、名簿を作成しなかった。避難者数は、配布したクラッカーの数で把握した。

使用した名簿について (P 16、 P 17)



避難者名簿に対する要望

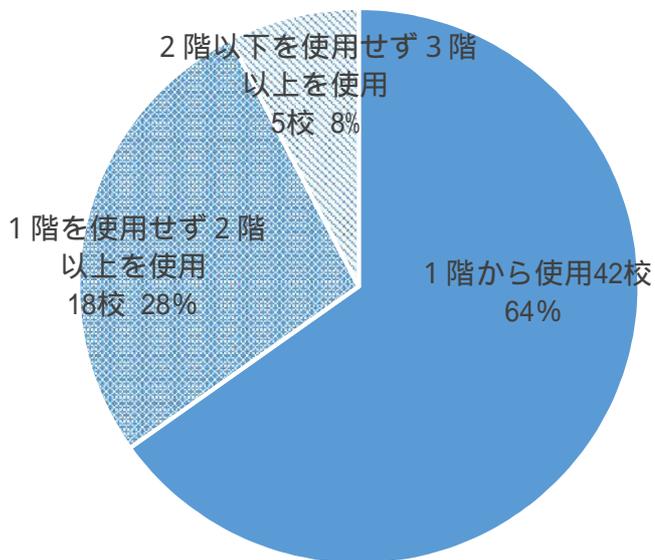
- ・行間を広くしてほしい。
- ・退所日を退所日時に変更してほしい。

避難者カード (世帯単位) を使用した感想

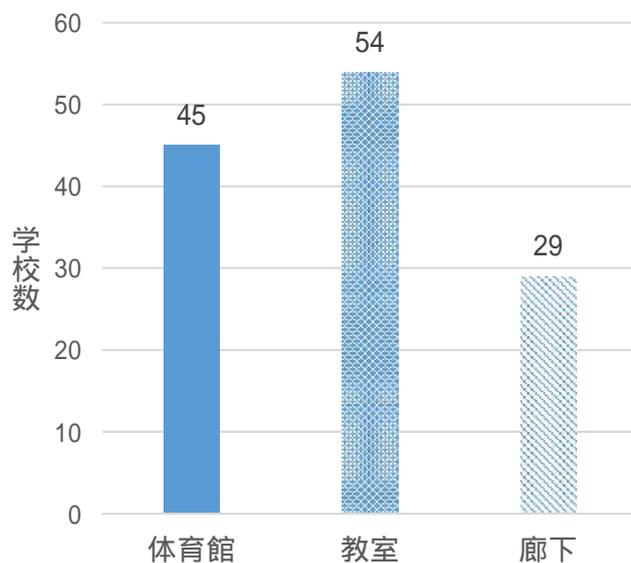
- ・記入に際して苦情はなかった。書き方がわからない方がほとんどで、説明しながら作成したので、時間がかかり長い列ができた。
- ・記入に際して苦情はなかった。配慮事項を一目みてわかるように工夫してほしい。

5. 避難者の受け入れと退所について

(1) 使用した階層の割合



(2) 部屋別の学校数



(3) 使用した階層に関する意見

- ・初めから3階に避難させるといった人がいた。
- ・避難者から低層階は浸水が心配という声があり、上層階へ移動した。
- ・あらかじめ上層階に避難させるべきか判断できなかった。
- ・避難所スペースは川の氾濫に備えて原則2階以上とした。

上記を含め30校で、どの階から案内するか判断に迷ったり、浸水の可能性を考慮して上層階から案内したりするなどの対応があった。これは水害特有の事象だと考えられる。ハザードマップ等を活用し、浸水時に使える階数を担当職員が把握しておく必要である。

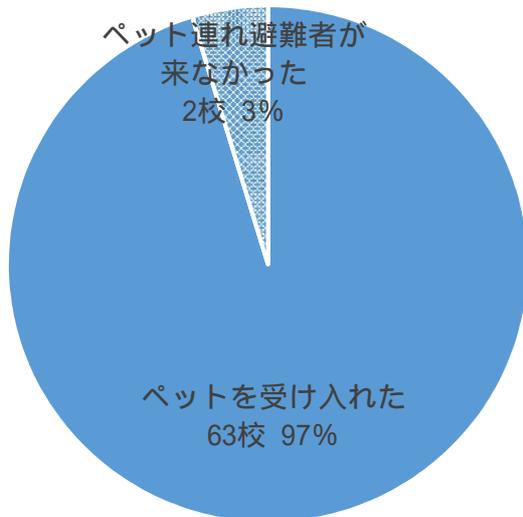
(4) 避難所からの帰宅について

- ・23時から1時に150名帰宅。朝6時半過ぎからまた帰りだした。止めたが無駄だった。
- ・約400人の避難者の中で、1時から2時くらいに一斉に帰宅が始まり、30人程度しか泊まらなかった。

把握できただけでも上記を含む28校で、風雨が弱まった直後にほとんどの避難者が帰宅した。避難勧告を発令している理由を理解していない避難者が多かったことが浮き彫りになった。

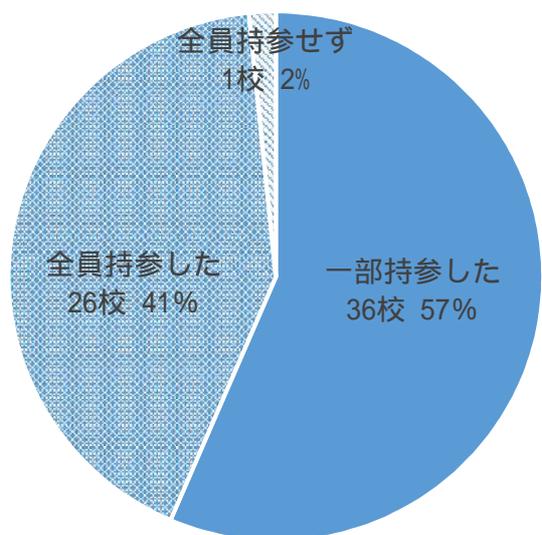
6 . ペット同行避難について

(1) ペット同行避難者の有無

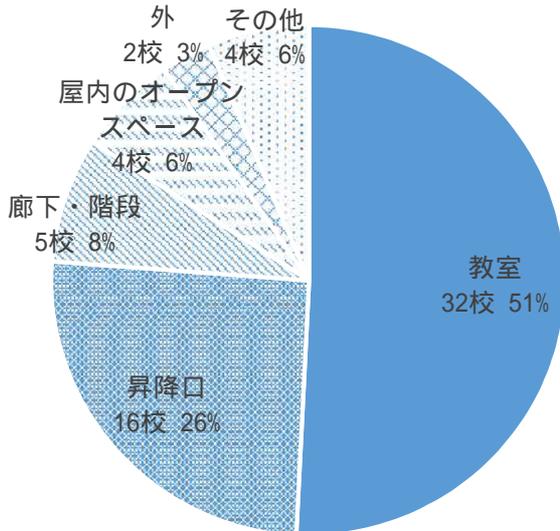


ペットを拒否した避難所は無し

(2) ケージの持参状況

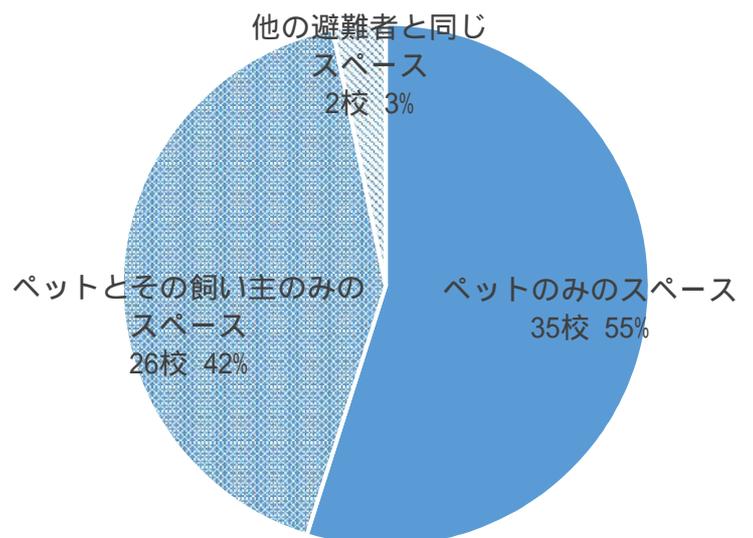


(3) ペットをどこで受け入れたか



その他...体育館 3、自家用車 1

(4) ペットスペースの状況



(5) ペット同行避難についての聞き取り結果

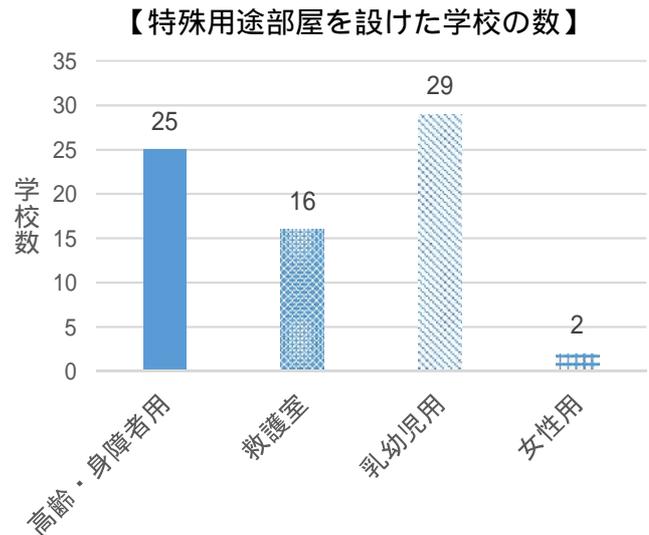
- ・ペット部屋にしていた教室を後日使用した生徒にアレルギーが出た。
 - ・ペットが壁に尿をしても飼い主の掃除が適切だった。
 - ・他人の犬に噛まれた避難者がいて消毒してあげた。
- 上記を含め、**9校**でペットに関する何らかのトラブルが発生した。
- ・ペット受け入れルールについて統一見解を示してもらえると助かる。
 - ・1階の理科室を校長先生と相談し、ペットの避難場所として開放した。

7. 要配慮者への対応について

(1) 特殊用途部屋について

- ・1Fのエンカレッジルームを車いす用、保健室を寝たきりの人用のスペースとした。
- ・熟年者ルーム、ファミリールーム・メンズルーム・レディースルーム
- ・授乳室・おむつ替えの部屋を作った。

上記を含む56校で何らかの特殊用途の部屋を作った。開設職員は、どのような避難者が来ているか把握して対応を行った。



(2) 要配慮者の介助

- ・トイレの介助をしたのでヘルパーがいてくれれば助かる。
- ・車いすの方も何人がいた、体育館へ上げ下げをみんなで行った。
- ・床に寝れない人がいたため、毛布の段ボールでベッドを作った。

上記を含む16校で開設職員が要配慮者の介助を行った。

(3) 障害者施設からの集団避難

- ・近隣の知的障害者施設から十名程度の入所者が集団で避難してきたが、施設職員が管理できておらず、館内を走り回るなど一般の避難者と同室にしにくいケースがあった。
- ・高齢者のグループホームから数名の方が避難してきて、要配慮者スペースへ案内した。施設の職員は献身的で、個人で来た要配慮者の面倒も見てくれた。これと別に、知的障害者のグループホームから10人程度集団で避難してきたため教室を割り当てて対応した。こちらも施設職員がよく見守っていた。

一度に多数の要配慮者が避難してくると、開設職員のみでは十分な対応ができない可能性が高い。避難が見込まれる施設の把握や事前の取り決め等の対策を検討する必要がある。

(4) ホームレスの避難者について

- ・ホームレスらしき人はいた。食べ物をもらいに来たので渡したら帰っていった。部屋には入っていない。
- ・ホームレスらしき避難者はいた。

断定はできないが上記2校でホームレスと思われる避難者があったがいずれも避難を拒否するような対応は行わなかった。

8 . 避難者から受けた要望

(1) 充電について

- ・充電は断った。
- ・コンセントを使いたいとの要望は、校長先生に確認し使用可能とした。
- ・学校のコンセントを勝手に使われた。
- ・避難者が学校のコンセントを勝手に使用してよいか判断に困った。

判明しただけでも上記を含む23校で充電の要望があった。今回は対応にばらつきがあったため、統一の指針があると開設職員の負担も減らすことができる。

(2) タバコについて

- ・外で吸うよう伝えしたが、1階の玄関付近で吸っていて中まで臭った。
- ・トイレで吸っている人がいた。
- ・タバコは吸わせないようにした。

確認できただけでも上記を含む11校でタバコを吸いたいという要望があり、禁止した学校もあったが、雨が降っていたこともあり屋内で勝手に喫煙されてしまった学校もあった。

(3) お湯の要望

- ・粉ミルク用として学校のポットで対応した。
- ・ルールでお湯は提供しないことにした。
- ・カセットコンロを持ち込んで使用している避難者がいた。

上記を含む26校でお湯の要望があったが、開設職員が提供した学校、断った学校、避難者が自ら沸かした学校など、場所によって対応は異なった。ライフラインが無事なら家庭科室等を利用したり、学校のポットを利用したりすることもできるが、提供の優先順位や場所を定める必要がある。また、備蓄物資として各学校に配備されているカセットコンロとボンベを利用することも可能である。

(4) 車での避難

- ・10台位車で避難してきた。
- ・駐車はできないと説明し帰らせた。

受け入れたところもあれば、車での避難者を帰らせたところもあり、対応は様々だが車で来た避難者がいた学校も多かった。

9. 物資について

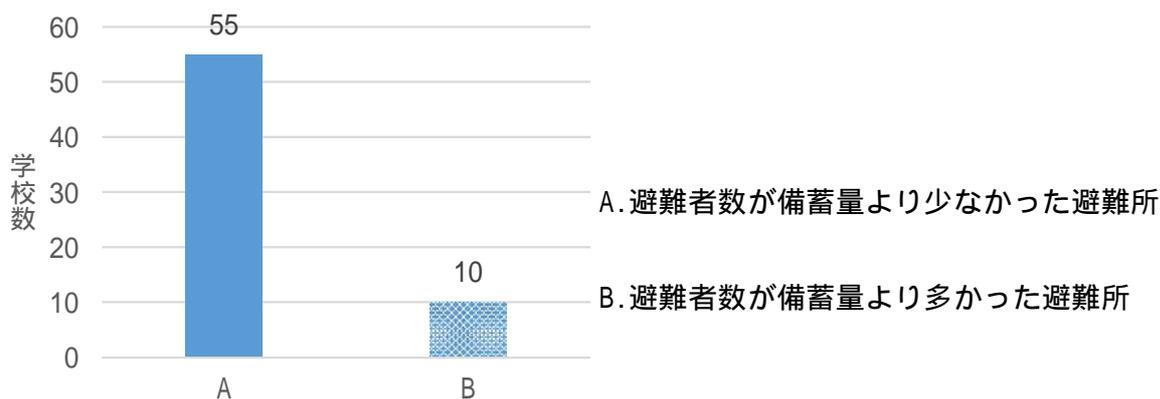
(1) 各避難所で配付した備蓄物資

各避難所において備蓄物資は以下のように配付された。

種類	配付 避難所数	配付総数	種類	配付 避難所数	配付総数
クラッカー	60 校	32,200 食	毛布	65 校	20,945 枚
アルファ米	6 校	2,200 食	カーペット	21 校	1,725 枚
粉ミルク	1 校	1 箱	ブルーシート	55 校	2,100 枚
保存水(粉ミルク用)	20 校	1,920 本			

- ・クラッカーを配付していない避難所は5校あったが、1つの避難所で2,030食のクラッカーを使用したところもあり、ばらつきがあった。
- ・何も物資を持ってこない避難者もいたが、避難者の大多数が食糧は持ってきており、クラッカーを配付するに当たり「必要な方は取りに来てください。」とアナウンスしたものの、ほとんど取りに来なかったところもあった。
- ・粉ミルクを配付したのが1校に対し、粉ミルク用保存水は20校で配付した。これは保存水が粉ミルク用と理解せず使用してしまったものがほとんどだった。
- ・毛布は全ての避難所で配付したが、配付方法には避難所により違いがあった。要配慮者用として1枚だけ使用したところもあれば、備蓄されている全ての毛布を使用したところもあった。毛布の使用状況は下記グラフのとおり。

【毛布の備蓄量と避難者数の比較】



- ・毛布が足りなかったところでは1世帯1枚、数人で1枚等工夫をして配付をした一方で、最初から1人に2枚配ってしまい、足りなくなってしまうところもあった。
- ・何をどこまで使っているかわからない、配付について区から指針が欲しいとの意見も多かった。
- ・備蓄が少ない、水没した後耐えられるくらいの備蓄物資が必要という要望も挙がった。

(2) 備蓄倉庫についての避難所開設職員からの意見

- ・ 備蓄倉庫を水没しない階に移してほしい。
- ・ 備蓄物資を水没しない教室へ移動させるのが大変だった。
- ・ 外倉庫なので大雨で行くことが難しかった。

(3) 使用した学校の物品

以下の物品について、教職員が参集した避難所は比較的スムーズに物品を使用出来たが、教職員がいないところは使用しなかったが、使えなかったところもあった。

【 文具類、養生テープ、カッター、モップ等清掃用具、雑巾（子ども達のものも含む）、台車、トイレットペーパー、バケツ、ポット、担架、スリッパ、ホワイトボード、体育館マット、移動式畳、パイプ椅子、扇風機、拡声器、トランシーバー、絆創膏等医薬品 】

(4) 避難所開設職員からの物品要望

避難所開設職員から様々な物品の新規配備や追加について要望があった。要望されたものを今後の対応ごとに以下にまとめた。

今後配備について検討していくもの

衛生セット（マスク、ビニール手袋、ゴミ袋、アルコールティッシュ）、養生テープ、ビニール袋、カッター、はさみ、すずらんテープ、紙コップ、入口看板、立入禁止等の張り紙、名簿用ファイル、タオル、ブルーシート（追加）、軍手（追加）

学校にあるもの・協定で提供されるもの・自助で賄うもの

トイレットペーパー、マジック、用紙、電源ドラム、絆創膏・体温計等救急セット、感染症予防用消毒液、翻訳機、テレビ、ラジオ、ガムテープ、水、傘袋、養生シート、消臭スプレー、硬質クリアケース、避難所開設職員用備蓄（食糧・水・寝袋）

10. 情報について

(1) 本部からの情報連絡について

避難所開設職員が情報不足だと感じた避難所は46校あった。避難所開設職員はずっとテレビやスマートフォンを見ている訳にもいかず、避難者から情報を教えられるようなケースもあり、多くの避難所から定期的に情報提供が欲しかったという意見が挙がった。

【避難所開設職員から要望のあった情報】

河川の水位、今後の対応の見通し、他の避難所の混雑状況、停電情報、被害状況、Wi-Fiを災害モードで開放していたこと、各学校の浸水深等

(2) 本部への連絡について

- ・避難所から本部への連絡手段として電話しかなかった。
- ・電話が繋がりにくかった。
- ・定時報告の際に質問をしたものの、回答を得られなかった。

(3) 別の連絡手段についての要望

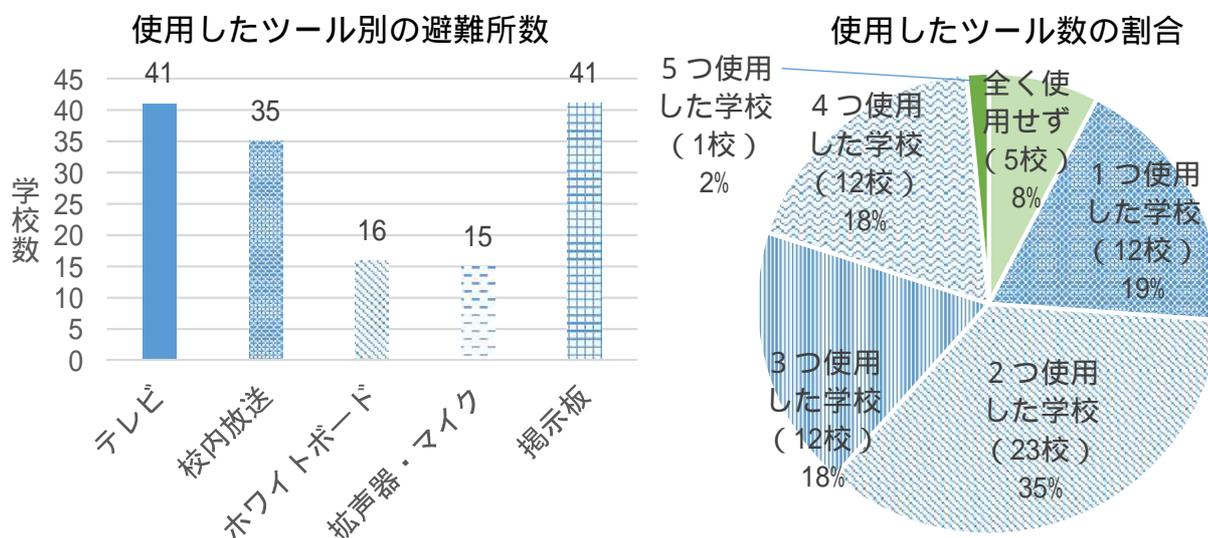
- ・学校の全庁LAN端末を利用して連絡をしたい。
- ・学校にはMCA無線が配備されていないので、配備して欲しい。

(4) 避難所開設職員間の連絡手段について

- ・避難所開設職員内の情報共有について、LINEを使用できる職員についてはグループLINEを設定し連絡を取りあった。
- ・学校からトランシーバーを借りることが出来た。
- ・トランシーバー等情報共有ツールが欲しい。
- ・学校やすくすくスクールのトランシーバーを使用したい。

(5) 避難者への情報提供

各避難所では様々な形で避難者への情報提供が行われた。使用したツールは以下のとおりである。



○前述以外の情報提供方法

- ・PTA がラジオを流してくれて、それを体育館で流した。
- ・自治会の方がパソコンを持ってきてスクリーンに映して情報を共有した。

○避難所開設職員からの意見

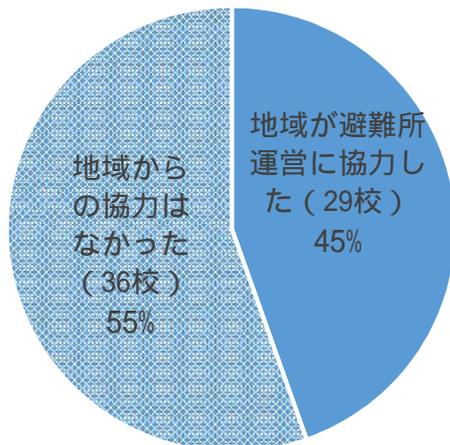
- ・本部を特別教室にしたが、電子黒板の使い方が分からず、テレビから情報を得ることができなかった。
- ・テレビのリモコンを独占してしまう避難者がいて、深夜までテレビを付けたままにされてしまった。
- ・一部の部屋だけ消灯後もテレビを見れるように対応した。
- ・体育館内で見れるテレビは常備されていないので、多くの避難者からテレビが欲しいとの意見が挙がった。

11. 地域・学校との連携について

(1) 地域との連携

避難所を運営していくうえで、地域との協力は必要不可欠である。現在、危機管理室では地域・学校・区の三者が参画する避難所運営協議会の立ち上げを進めている。今回避難所となった65校において、避難所運営協議会は30校で立ち上げられている。

○避難所での活動に協力があつた避難所



協力はなかった避難所の中には町会が様子を見に来たところも含まれる。

- ・協力のあつた団体としては、町会・自治会だけではなく、PTA、おやじの会等があつた。
- ・地域からの協力はなかった避難所のうち、8校では避難所開設職員が呼び掛けに応じ、避難者からの協力を得ていた。

○地域の協力内容

- ・避難する人に対して食糧をもってくるよう広報した。
- ・足の不自由な方の介助や車椅子の方を上階に上げた。
- ・地域が率先して情報の周知を行ったため、風雨が収まってもほぼ全員が避難所に留まった。
- ・受付と誘導を全面的に行った。
- ・パトロール隊を作り、夜間警備を行った。
- ・町会の発電機を持ってきて、停電に備えた。

その他、教室・体育館へのブルーシート貼りや物資の運搬、配付、近隣の避難所との連絡調整、避難所内の仕切り作り、避難所撤収作業等、様々な形で協力があつた。

(2) 学校との連携

- ・校長・副校長がいたので、判断に迷った際に助かった。
- ・学校から片付けは防災教育の一環で子どもにやらせるので、不要との申し出があつた。
- ・学校からの提案で住所毎に避難する教室を分けて誘導した。
- ・校長が小さいテレビを持ってきて、プロジェクターで放映してくれた。

避難者名簿

避難所名： _____

【担当】被災者管理班

カ-ト*	避難者	氏名 住所		性別	年齢	避難ルーム (居場所)	配慮事項等 (要介護・障害・アレルギー等)	退所日
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						
		(氏名)						
		(住所)						

避難者カード 個票（世帯単位）

記入日： 年 月 日

【担当】被災者管理班

該当する番号に をつけてください	1 避難者 [避難所での生活を希望する方]
	2 在宅避難者 [自宅等で生活するが配給等が必要な方]
	3 帰宅困難者 [自宅が遠距離にあり帰宅できない方]

～ について、記入または をつけてください（3 帰宅困難者は のみ記入）

	町・自治会名	（ ）町・自治会 ・ 未加入（無所属）			
氏名等 避難者の場合は 避難所に居る方を 記入してください	氏名（ふりがな）	年齢	性別	配慮事項等 （要介護・障害・アレルギー等）	
	(代表者)		男・女		
			男・女		
家屋被害等 わかる範囲で	全壊 断水	半壊 停電	一部損壊 ガス停止	流失 電話不通	床上床下浸水 被害なし
緊急連絡先 親族等	住所：〒 氏名： TEL（ ） -				
避難・安否情報	【避難確認】 全員避難した まだ残っている 【安否確認】 全員連絡が取れた まだ取れていない				
特記事項	資格など避難所運営にご協力・ご活用いただけることがあれば、氏名・内容を記入してください。				
	氏名	資格等・ご協力いただける内容			

安否の問合せがあった場合、情報を公表しても良いですか？	はい	いいえ
区ホームページに避難者として公表しても良いですか？	はい	いいえ

避難者カード	退所年月日 or 支援終了日	転出先情報
	年 月 日	住所： TEL：() -